

日本山岳写真協会 選抜展 No.14 「それぞれの山」

日 程／平成29年2月16日(木)～2月22日(水) 会 場／ポートレートギャラリー

1	冬をまとう	池 田 栄 子
<p>厳冬期、烈風吹き荒ぶ北アルプス、後立山連峰。立っていることも難しい。明けて、今日はキリリと晴れわたり五竜岳が息を呑むような迫力で迫ってくる。人も寄せ付けない超厳しい極寒の世界。でも、時と共に季節は移ろう。</p>		
2	山稜紅焰	伊 原 明 弘
<p>終日不機嫌な天界の神々達。「今日も駄目か」諦め撤収しはじめた時、水平線の僅かな雲の間から灼熱の炎が燃え上がり始めた。神々の情熱の炎か・・・恨みの炎か・・・戒めの炎か・・・はたまた嫉妬の炎なのか・・・。僅か5分の筋書きの無い感動のドラマ。</p>		
3	盛夏の北岳	上 野 巖
<p>北岳は何処からの眺望が一番いいだろう。それは、なんと言っても南西面からだと言える。3193mの円錐が天を突き、左右に張り出す尾根筋が、美しい線を描いて青空を区切る姿はまったく見事なものだ。東南面の600mの高度差を誇るバットレスも素晴らしいし、わずかに雪の残る間ノ岳の東面からは、より高くより美しい姿が得られる。</p>		
4	滝谷・冬から春へ	岡 孝 雄
<p>青春時代に攀(よ)じ登ったが、今はとても無理だ。郷愁の念に想いを求め、何回かラッセルを繰り返し出合に向かう。寒風の峻立・穏やかな岩の殿堂・流れ落ちた雪塊。どの光景も思考を50年前に引き戻す。</p>		
5	夏の記憶	上 ヶ 平 裕 彦
<p>乏しい水と養分を頼りに極限の環境で生きるコバイケイソウ。幾年かの蓄えでようやく花開き、限られた交配のチャンスに賭け、また幾年か沈黙の時を過ごす。申し合わせたかのように多くの花株が一斉開花を迎えるその仕組みは謎。クリーム色の絨毯が上げられたかのように一変した景色を目にし、かつての記憶を呼び起こした。そして再びこの景色を見るのはいったい何年の後だろうか。</p>		
6	厳冬の阿弥陀岳	瀬 戸 口 隆 司
<p>阿弥陀岳は、赤岳を主峰とする一連の主脈群からは外れているが、厳冬期には強い風雪が吹き荒れ、厳しい表情を見せる。「日の出」時は赤岳の影が映り、「夕日」の時には逆光となり、なかなか良いカットを撮らせてもらえない。しかし、その困難さ故に、取り組み甲斐がある。今回は、「南八ヶ岳」をテーマとしたシリーズの完結にあたって「阿弥陀岳」を取り上げた。</p>		
7	夏を迎えた秋田駒ヶ岳	名 取 洋
<p>秋田県と岩手県の県境に聳える秋田駒ヶ岳。山頂付近は阿弥陀池が水を湛え、初夏にはチングルマ・コマクサ・ミヤマキスミレが群生をなす。8月上旬、梅雨が明け、快晴に恵まれた一日。日の出前、刻々と変化する東の空、遠く岩手山方面から昇る太陽は池面を朱色に染めた。</p>		
8	雲湧く白馬岳	長 谷 川 洋 一
<p>北アルプス北部に位置する白馬三山は 四季を通して多くの人々が訪れる。最盛期の夏山では大雪渓を登り下りする登山者でにぎわう。稜線にでると、色とりどりの高山植物が咲き心を和ましてくれる。気温が上がり上昇気流で雲が湧き始める。白馬・杓子・鍵ヶ岳の山頂での眺望は素晴らしい。</p>		
9	初夏の山稜	畑 島 淳
<p>梅雨明け前の小池新道。雪渓や残雪が残る稜線に早咲きの高山植物が咲き始める。盛夏の様な青空にはならないが、垂れ込めた梅雨の季節を感じさせる。雨の合間を狙って初夏の山稜を表現した。</p>		
10	凍	広 木 孝 一
<p>冬は雪山も良いが、凍結した溪谷も面白い。初冬から厳冬にかけて、季節の移ろう中で自然が創り出す芸術作品の大ギャラリーとなる。通い込んでいる那須塩原のスッカン沢は数年前から冬季通行止めとなり、ほとんど誰にも会わずに創作活動が出来る場所である。</p>		
11	白山・赤い霊峰	福 田 泰 彦
<p>白山、古より山岳信仰の山、冬の間容から白い霊峰として人々に慕われ崇められてきた日本三霊山の一つである。この山でも、秋ともなればナナカマドが真っ赤に色づき、赤い霊峰となる。紅い実を眺めても、それがまた神聖な気持ちにさせるのは、霊山であるが故かもしれない。</p>		
12	春の権現岳	星 野 吉 晴
<p>八ヶ岳連峰最南端に座す権現岳。例年、4月末の小屋開けを待って訪ねている。まだ頂上には雪が残り、西のギボシ峰までナイフリッジが連なる。また、北へ向かう雪稜の向こうには主峰の赤岳や阿弥陀岳がそびえたつ。南方には南アルプスや富士山。それらが朝夕の光の変化によって、みごとなドラマを演ずる。</p>		
13	春の嵐過ぎ去りて	松 原 貴 代 司
<p>私は剣御前稜線の小屋開けに合わせて、ここ10年余り毎春登っている。2016年は暴風雪の中を、翌日に期待して登った。天候の回復は翌日午前遅くなったが、稜線一面厳冬期の様な岩氷で埋め尽され、夢中で撮影した。</p>		